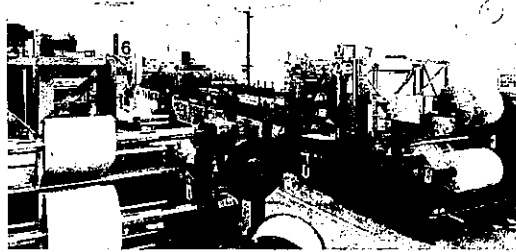


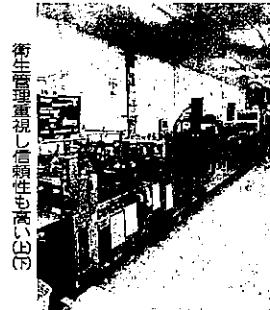
## 加工の現場から

森製袋(福岡県新宮町、〒092・9663・1373)は創業以来、製袋加工一筋に地元・九州の加工タイムスに対応し取引先の信頼も厚く関連業界で存在感を鮮明にしている。



「今年はおかげさまで創業59年目となり、皆さまに支えていただいた感謝にあらがとうございます。昨年からは社内情報共有アプリ」をスタートし社員同士のコミュニケーションの場として活用しています。今後も皆で支え合いながら元気で明るい職場を目指してまいります」と語る。注目企業の加工現場に迫ってみた。

◇ ◇  
 同社は1965年(昭和40年)7月「森製袋所」として設立。83年(同58年)に新工場建設に伴い現在地に移転。95年「森



衛生管理重視し信頼性も高い(田)

# アプリで社内情報共有 社員同士のコミケで活用

森製袋

製袋」として組織変更と述べている。後、着実に業務を拡大加工設備は、スタンダードチャック機3台、底ガゼット式スタンドチャック機1台、センタヤック袋、スタンド袋、チープレス合掌機5台をヤック袋を手掛け、9念頭に地元・九州エリアを中心とする全国有数の軟包装関連企業の製袋加工を行い、品質、納期など充実したサービス提供の問い合わせにも迅速対応できる体制を整えている。「プラ」とりわけ「元気で明るい職場を目指す」と野中社長が強調するうちに、昨年から社員同士のコミュニケーションツールとして「社内情報共有アプリ」を導入し関係業界で話題を上げてきました」と野中社長が語るように、2005年に軟包装衛生協議会へ入会し厳しい審査を受け「準認定工場」を認定取得。11年「グリーンルーム」を建築し衛生管理を徹底する中で「健康と安全」として信用第一に従業員一同、日々の業務に取り組みんでいます。

「当社では衛生管理の重要性を早くから心掛けてきました」と野中社長が語るように、2005年に軟包装衛生協議会へ入会し厳しい審査を受け「準認定工場」を認定取得。11年「グリーンルーム」を建築し衛生管理を徹底する中で「健康と安全」として信用第一に従業員一同、日々の業務に取り組みんでいます。

「今年はおかげさまで創業59年目となり、皆さまに支えていただいた感謝にあらがとうございます。昨年からは社内情報共有アプリ」をスタートし社員同士のコミュニケーションの場として活用しています。今後も皆で支え合いながら元気で明るい職場を目指してまいります」と語る。注目企業の加工現場に迫ってみた。

同社は1965年(昭和40年)7月「森製袋所」として設立。83年(同58年)に新工場建設に伴い現在地に移転。95年「森